

神学専攻_____領域（博士前期）

試験科目：外国語（英語）

1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

Dogmatic Constitution on the Church, in *The Sixteen Documents of Vatican II* (Boston: St. Paul Editions, 1967), pp. 109-110.

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

2. 下線部②を日本語に訳しなさい。

3. 下線部③を日本語に訳しなさい。

4. 下線部④を日本語に訳しなさい。

5. 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

6. 下線部⑥を日本語に訳しなさい。

2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

Common Declaration of H. H. Pope Paul VI and H. H. Pope Shenouda III, in *Documents on Unity in Faith between the Oriental Orthodox Churches and the Roman Catholic Church* (Innsbruck: Tyrolia, 2013), p. 26.

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

2. 下線部②を日本語に訳しなさい。

3. 下線部③を日本語に訳しなさい。

4. 下線部④を日本語に訳しなさい。

5. 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

6. 下線部⑥を日本語に訳しなさい。

神学専攻 領域（博士前期）

試験科目：専門科目（カトリック神学の基礎知識についての筆記試験）

問1. パウロは

_____と言っている。ローマの信徒への手紙5章と6章およびコリントの信徒への手紙一15章1節～28節を踏まえた上で、イエスの受難と復活がどのように人間の救いに関係しているのかを述べよ。

以下の点について説明してあることが望ましい。

- ・キリスト教信仰の核心となる福音（よき知らせ）とは、「キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られ、三日目に復活し、ケファに現れ、その後十二人に現れたこと」である。
- ・一人の人（アダム）の不従順によって罪が世に入り、死がすべての人に及んだように、十字架で血を流したキリストの従順により、すべての人が義とされて命を得ることになった。
- ・こうして、御子の死によって神と和解させられた人間は、御子の命によって救われ、主イエス・キリストを通して永遠の命という神の賜物をいただく。そのため、死者の中から復活したキリストは、眠りについた人たちの初穂と呼ばれる。
- ・このことを信じるキリスト者は、洗礼によってキリストと共に葬られてその死にあずかる者となり、それを通して御父の栄光によって死者の中から復活させられたキリストの永遠の新しい命にあずかる。
- ・キリスト者の信仰を支える希望とは、最終的に死が滅ぼされ、復活した御子を通してこの世界において「神がすべてにおいてすべてとなられる」ことが実現することによって、全被造物が救いに与るということである。
- ・以上のことから、復活信仰を持たないとキリスト教信仰にとって最も重要な核心を有していないことになるので、「信仰も宣教も無駄になる」とパウロは強調している。

問2. _____とはどういう意味か。第二バチカン公会議文書『教会の宣教活動に関する教令』2条～5条を踏まえた上で、三一なる神（父と子と聖霊）による救いの業と教会の使命がどのように関係しているのかを説明しながら述べよ。

以下の点について説明してあることが望ましい。

- ・地上を旅する教会が、父である神の計画に従って、御子の派遣（missio）と聖霊の派遣（missio）とに由来すること。すなわち、教会の宣教的という本性は、いわゆるMissio Deiに由来すること。
- ・ここでの派遣および宣教とは、単に教えを広めるということに留まらず、神が愛をもって自己を伝えるという「自己譲与」のダイナミズムの中で理解すべきだということ。また人間に対する神の自己譲与の歴史における展開がいわゆる「救済史」であるということ。
- ・父なる神は世界の創造において、ご自分のいのちによって被造物にいのちを与えた。この御父は御子を人類に派遣したが、それは受肉という「われわれのために貧しい者となる」ことにおいて実現し、その御子による救いの業は「すべての人のあがないとしてご自分のいのちをささげる」ことを通して成就した。
- ・この救いの業が地の果てまで宣言され、広められるためにキリストは使徒たちを派遣したが、その派遣を支えているのは、キリストによって御父のもとから派遣された聖霊である。キリストをおとめマリアに宿らせ、キリストを宣教へと駆り立てた同じ聖霊が、教会を宣教へと動かしている。
- ・この使命は使徒たちから、ペトロの後継者である教皇と一致する司教団へと受け継がれたが、それは教会全体の生活の模範と宣教、および秘跡などを通して、教会がすべての民族に派遣された「救いの普遍的秘跡」としての召命を生きることによって実現する。
- ・このように宣教を本性として有する教会は、貧しい人々に福音を伝えるために遣わされたキリストの使命を継続し、歴史の中でそれを展開する。そのため、この宣教はキリストのそれと同じように、貧しさ、従順、奉仕、死に至るまでの自己奉獻によって行われてこそ、復活したキリストの永遠のいのちへと人類を招くものとなる。